

平成23年第4回（9月）瀬戸内議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に続いて、教育委員会から6件の行政報告をいたします。

○ 学校施設の耐震化について

平成23年度に実施する耐震化工事は、小学校2校・中学校1校の校舎で、夏休み期間中に重点的に工事を実施しており、現在順調に進んでいます。

また、牛窓東小学校校舎耐震改築の実施設計業務においては、プロポーザル方式により機能性や安全性、省エネ等に配慮した提案を求め、設計業者を決定し業務に着手しており、今年度中には実施設計が完了する予定となっています。

○ 学力・学習状況調査について

平成23年度の「岡山県学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力・学習状況調査」の結果について概要をお知らせします。

岡山県の学力・学習状況調査は、中学校1年生を対象に4月に実施されました。本市の子供たちの結果について全体の傾向を申し上げます。国語では、文章を読むことはほぼ水準に達していますが、文章を書くことや漢字の読み・書きをやや苦手としています。社会

では、我が国の憲法や政治についての知識・理解は高いですが、経済や産業についての知識・理解が不十分です。数学では、基本的な計算力は身につけていますが、小数や分数の計算がやや苦手です。また、図形の認識に課題があります。理科では、観察・実験の技能については高いですが、自然事象や自然現象についての知識・理解が不十分です。全教科を通じて見られるのは、基礎的・基本的な知識は理解していますが、得た知識を使って考えをまとめ、文章に表したり、説明したりすることをやや苦手とする傾向があることです。

市独自の学力・学習状況調査は、小学校4年生・5年生と中学校2年生を対象に4月に実施しました。全体の傾向について申し上げます。小学校では、国語で読む・書く・聞く・話す力に課題がありますが、算数の知識・理解・計算技能などは高くなっています。中学校では逆に、国語の力が高いですが、数学に関して、関心・意欲や数学的な判断力などが低い傾向にあります。

学習や生活の状況については、家庭学習が以前より定着してきましたが、内容や充実度に課題があります。また、規則正しい生活が身につけている児童生徒と、そうでない児童生徒や、自己肯定感のある児童生徒と、そうでない児童生徒との差が大きくなりつつあり、学習意欲や学習態度にも影響しています。さらに、国語や算数、数学などの教科の勉強を好きだと感じている児童生徒が県平均より少ないことも課題です。

今後は、各学校で「改善プラン」を作成して授業改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒に応じた指導の工夫を図っていきます。また、市全体の傾向については、市のホームページでお知らせする予定です。

また、今回初めて「夏休み子ども寺子屋教室」を企画し、8月25日と26日の2日間、中央公民館を会場に実施しました。これは、子どもの学習意欲の向上と地域のボランティア先生の発掘を目的にしたものであり、将来的にはボランティア先生による定期的な「寺子屋教室」の開催を目指しているものであります。

○ 中国地区中学校体育大会への出場について

7月に行われました岡山県中学校夏季総合体育大会で県代表となり、中国大会に出場した部活動について報告いたします。

今回、県代表となったのは、邑久中学校の剣道部と陸上競技部、そして、長船中学校の剣道部です。邑久中学校剣道部は、団体戦女子チーム及び個人戦男子1名、女子1名が8月5日に美作市で行われた大会に出場し健闘しました。陸上競技部は8月7日と8日に島根県出雲市で行われた大会に、1年生女子800m走、2年生男子100m走、2年生女子走り幅跳びに1名ずつ出場しました。そのうち、1年生女子800m走は決勝に進出し、8位に入賞しました。

長船中学校剣道部は、男子個人戦に1名が出場し健闘しました。

○ 子供自転車全国大会への出場について

6月に行われました、交通安全子供自転車岡山県大会で、裳掛小学校6年生チームが見事優勝を果たし、全国大会に出場しました。全国大会は、8月3日に東京都で行われ、裳掛小学校の子供たちは力一杯頑張り、全国の子供たちとの交流を深めました。

○ チャレンジデー2011の開催について

5月25日(水)に開催いたしました『チャレンジデー2011 INせとうち』では、市民の皆様のご理解とご協力を得て、目標としていました市の人口の40%、16,000人を達成いたしました。最終の参加人数は16,967人、参加率は43.2%となりました。6月28日に実行委員会を開催し、各種団体への調整や協力依頼において早くから事業に取り組む事の反省を行いました。また、チャレンジデーをきっかけとして、各地域や職場・学校などにおいて、運動習慣が身につく、スポーツを通じて健やかに暮らせるまちを目指して、社会体育施設や地域公民館・公会堂・コミュニティセンターなどでの、市民の健康づくりにつながる多くの行事や教室などを推進していくことを確認し、随時取組を進めているところでございます。

○ 備前長船刀剣博物館・美術館の特別展・企画展の開催について

備前長船刀剣博物館では、戦国時代の武将が数多く登場する、ア

アニメやゲームで人気の「戦国BASARA」に注目し、特別展『戦国BASARA』HERO武器・武具列伝を7月23日から9月4日まで開催しています。

そのねらいは、仮想の世界と現実の歴史を重ね合わせ、刀剣文化に対する若い世代の理解を促進しようとするものです。この中では、23人のキャラクターイラストや等身大パネルとともに、武将にまつわる武器・武具を展示したり、甲冑着付など体験型イベントを実施しています。8月14日には、昨年開催した国民文化祭の1日の来館者1,282名を上回る、1,304名の来館者があるなど、開催から32日間で、全国から14,629名の来館者がありました。

また、美術館では、館の収蔵品を中心とした展示をこれまで開催してまいりましたが、6月9日から7月20日にかけて、初めて他機関から借用した展示物を中心とする企画展「童謡詩人金子みすゞ展」を開催し、計4,243名の来館者がありました。また、7月23日から9月4日にかけては、パリで好評を得た作家による作品を集めた企画展「アール・ブリュット展」を開催しております。この企画展では社会福祉法人旭川荘の江草安彦名誉理事長を講師に迎え「アール・ブリュットと福祉」と題した記念講演会を7月31日

に開催し、175名に聴講いただきました。8月23日現在で来館者が1,402名となっています。今後も美術館の目的である、市民の芸術・文化の振興を図るため、瀬戸内市ゆかりの芸術家の顕彰はもちろん、他施設等との作品貸借を行い、優れた芸術・文化を市民が身近に観ることができるよう工夫した展覧会の開催を進めてまいります。また、3階ギャラリーにおきましては、市文化協会を中心に市民の優れた芸術作品の発表の場として活用される機会が増えており、市民の芸術・文化活動の活性化につながっております。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成23年9月1日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則

平成23年第4回（9月）瀬戸内議会定例会

教育委員会行政報告（追加分）

○スペシャル・オリンピックス夏季世界大会・アテネについて

瀬戸内市長船町在住の入江信行さんが、6月25日から7月4日にギリシャ・アテネで開催されたスペシャル・オリンピックス夏季世界大会に出場し、日頃の練習の成果を十分に発揮され、ボウリング競技ダブルスで金メダル、団体で4位、個人で7位を獲得されました。

7月15日、市は瀬戸内市功労表彰を授与し、その功労と努力を称えました。